

委員質問・意見等

第142回定例会（4月8日）受付分

（浅賀委員）

● シルトフェンス（東京電力（株））に対する 質問

（前回定例会にて）ご回答いただきましたが、理解できない点があります。

「7/8頁 図5 港湾周辺の海水濃度」の赤いウィンにシルトフェンスがあるとのこと。

疑問点 1. 海水がとどまっているとは考えられない。物理的に考えて、港の外へ時間と共に移動する。

2. シルトフェンスの材質が放射線を「しゃへい」出来ない。

この2点でいつになっても解決に至らないのではないのでしょうか。

● 情報公開に関する（東京電力（株））に対する 意見

本社から出席された方の申し開きの発言に疑問をいただきました。

早口で聞き取れない文言を確かめる為、定例会資料を開きました。44頁、45頁「社会的関心の高いもの」とか「社会目線を～」という言葉に驚きました。4年前の3.11の原発災害を何とお考えなのでしょう。全世界から「福島」は注目されています。もっと広く、深く真剣にお考えいただきたいと思います。

4月22日 受付分

（武本（和）委員）

● 東京電力（株）、原子力規制委員会に対する 質問

裏面のとおり

2015.04.22

東京電力と規制委（規制庁）への質問

武本和幸

東京電力への質問

1. 東京電力の電力需給計画に関して

東電は、4.08の地域の会で、3.25に“「平成27年度供給計画」の届出について”を経産省に提出したと報告した。その内容に関して、口頭で質問したが、以下に具体的に聞く。

Q1：これまでは、最大電力(kw)も年間電力量(kwh)も前年比で拡大するとしていたが、初めて減少するとした。その理由は何か。

Q2：10年後の供給計画では、昨年度まで本年より拡大するとしていたが、今回から減少するとした。理由は何か。

Q3：需要が減少しても原発を運転する理由は何か。3.11以降、原発が停止し続けても電力不足とならない中で原発を運転しなければならない理由は何か。

Q4：これまでの10年後の東京電力の需要想定を最大電力(kw)と電力需要(kwh)で示されたい。

2. 断層等に関して

Q5：規制委報告(2015.2.27)以降も、複数のボーリングを実施した。その実施目的は何か。実施結果は何処に公表されているのか。

Q6：4.09の所長会見で更に複数のボーリングを実施すると発表した。

「現地調査において必要なデータは得られたものと考えておりますが、自主的な取り組みとして、説明性のさらなる向上を目的として、寺尾地点におけるボーリングについて、既に採取済みの2本に加え、今後、追加で3本実施していく」としている。この調査はA断層に関する調査なのか。北2測線で確認された後谷背斜軸部東方の正断層の北方延長の調査なのか。

Q7：北2測線で確認された後谷背斜軸部東方の正断層の北方延長の調査は実施しないのか。実施しないなら不要と判断した理由は何か。

規制委(規制庁)への寺尾断層に関する質問

寺尾断層で東電のいうA断層はm単位の落差の西落ちの断層である。その断層の30m程東には、A断層に平行する東落ちの断層が存在する(柏崎刈羽原発断層問題研究会)。

東京電力の北2測線のボーリング調査では、寺尾断層トレンチ地点の直近に大湊砂層上限で落差10m余程度の東落ちの断層がボーリングで確認されている。(2.27 資料1-2)

東電は4.09の所長会見で「現地調査において必要なデータは得られたものと考えておりますが、自主的な取り組みとして、説明性のさらなる向上を目的として、寺尾地点におけるボーリングについて、既に採取済みの2本に加え、今後、追加で3本実施していく」としている。

Q1. 規制委(規制庁)は、寺尾断層トレンチ東の東落ち断層と北2の後谷背斜軸部東方の正断層の関係に関心があるのか。

Q2. 寺尾断層トレンチ東の東落ち断層の調査を指示するか。